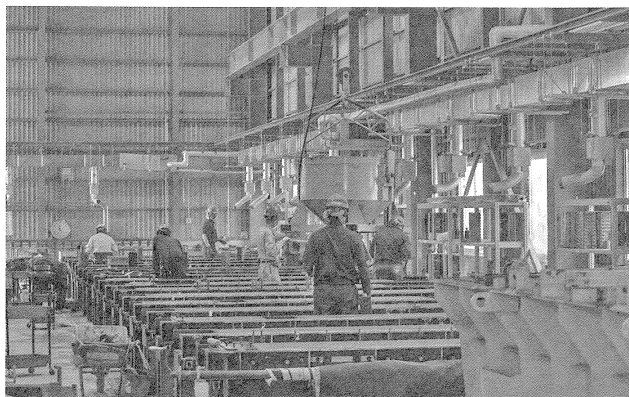


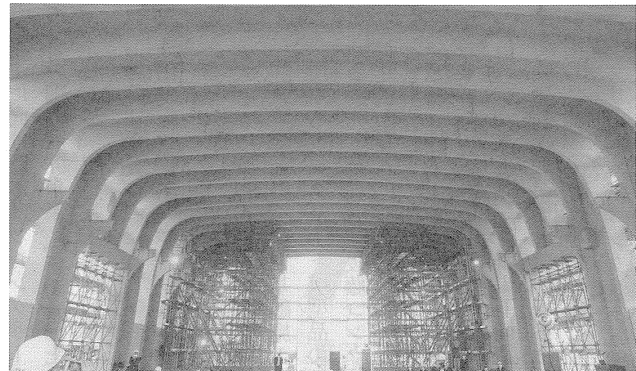


スポットクーラーを設置した

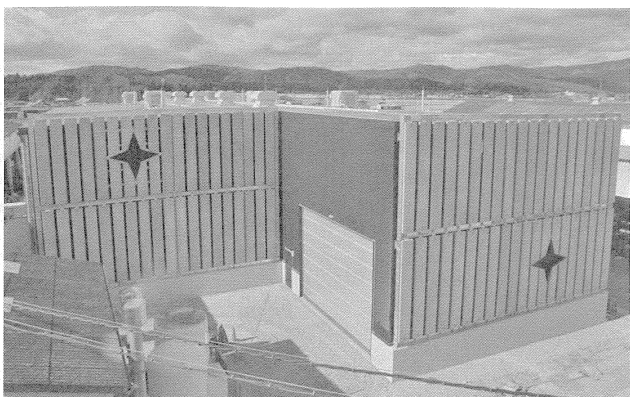
天井には一般的なルーフファン5台の他に、気化熱を利用した水冷式のクールルーフファンを5台設置。プレキャスト製品工場として初の試みとなる、大型スポットクーラーを導入した。さらに、工場の4カ所の出入口から冷気が逃げないように、高速シートシャッターを導入。採光を考慮した半透明のシャッターが7秒で開閉する。製造設備では5トンクレーン

を10トンに増強して、製造品目の大型化に対応した。これまで製造していたプレキャストガードフェンス、円型水路、油水分離槽などの製品ラインアップに加え、新たに會澤高圧コンクリートの住宅用プレキャスト基礎「シグマベース」や住宅用PCパイプ「Hパイプ」の受託生産を開始した。

北海道胆振東部地震の被災経験から、大型製品の製造に必要な大空間が激甚な自然災害に見舞われても建築性能を確保できるように、工場建屋としては異例ともいえるフルPC構造建築を採用した。PC建築は靱性に優れ、残留変形が極めて小さく復元性が高いので、大型台風や巨大地震などで被災しても建物をすぐに使用することができる。新工場の規模は建築面積1330・56㎡(幅25・4×長さ52・5m)、延床面積1290・0㎡で最高高さ12・7m。北見市近郊の訓子府(くしねつ)工場で製造し



深川工場のPCフレーム



ケイコン三重工場

今年度は新たに神奈川県鶴見コンクリートと、広島県的美建工業という地域を代表する企業2社を会員に迎えて事業を展開する計画だ。節目の年を迎え、今まで以上に会員各社の業績発展に貢献する工業会を実現したい。明日の春季研修会では、最新のプレキャスト工場の紹介やICTを活用した

今年度は新たに神奈川県鶴見コンクリートと、広島県的美建工業という地域を代表する企業2社を会員に迎えて事業を展開する計画だ。節目の年を迎え、今まで以上に会員各社の業績発展に貢献する工業会を実現したい。明日の春季研修会では、最新のプレキャスト工場の紹介やICTを活用した

今年度は新たに神奈川県鶴見コンクリートと、広島県的美建工業という地域を代表する企業2社を会員に迎えて事業を展開する計画だ。節目の年を迎え、今まで以上に会員各社の業績発展に貢献する工業会を実現したい。明日の春季研修会では、最新のプレキャスト工場の紹介やICTを活用した



會澤高圧深川工場

2年ぶり対面総会を開催

NEP工業会 売上額21億2000万円

NEP工業会(会長＝荒川崇氏)は6月17日、びわ湖大津プリンスホテル(滋賀県大津市)で令和3年度通常総会を開催した。総会では令和2年度事業報告・収支決算報告、令和3年度事業計画・収支予算案などが原案通り可決承認された。翌日は春季研修会が行われた。

●総会／鶴見コンクリートと美建工業が新規入会

総会開催にあたり挨拶した荒川会長は「今回は当工業会の前身であるNEPグループの設立から50期目、来年で50周年という節目の年にあたる。新型コロナウイルスの感染が急拡大する状況を踏まえ、

運営委員会や理事会と協議を重ね会場を急遽変更したが、2年ぶりに総会を開催し、皆さんと直接会って話ができる機会を得たことを何よりも感謝したい」と前置きした上で、「昨年度の事業は6月の総会と経営者研修会、春季研修会が第1回目の緊急事態宣言で開催見合わせとなったが、11月の秋季研修会には皆さんの協力により予定通り京都で開催することができた。また取扱商品の売上額は、令和元年度対比101%の21億2000万円となった。

今年度は新たに神奈川県鶴見コンクリートと、広島県的美建工業という地域を代表する企業2社を会員に迎えて事業を展開する計画だ。節目の年を迎え、今まで以上に会員各社の業績発展に貢献する工業会を実現したい。明日の春季研修会では、最新のプレキャスト工場の紹介やICTを活用した

庫管理の効率化など、ものづくりの側面からの報告と共に、全コンがプレキャスト製品業界のために進めている取り組みの最新状況について話を伺うことにしている。是非、今後の経営に役立てて欲しい」と述べた。

議案審議は荒川会長を議長に選出して進められ、令和2年度事業報告・収支決算報告、令和3年度事業計画・収支予算案などが原案通り可決承認された。同工業会には新たに、鶴見コンクリート(神奈川県)と美建工業(広島県)が準会員として入会し、会員社は63社となった。2020年度の工業会取扱商品の売上額は21億2000万円、累計売上額は1291億円となった。

今年度は新たに神奈川県鶴見コンクリートと、広島県的美建工業という地域を代表する企業2社を会員に迎えて事業を展開する計画だ。節目の年を迎え、今まで以上に会員各社の業績発展に貢献する工業会を実現したい。明日の春季研修会では、最新のプレキャスト工場の紹介やICTを活用した

ルチコーナー」などの研修を実施する計画。

優秀会員表彰では、工業会取扱商品の販売促進に貢献した武井工業所(茨城県)、ヤマックス(熊本県)、東京セメント工業(東京都)、不二高圧コンクリート(熊本県)、會澤高圧コンクリート(北海道)の5社に表彰状を贈った。

●経営者研修会／「ベップトーク」伝える言葉で結果が変わる



日本ベップトーク普及協会の岩崎由純代表理事が、「部下を元気にする! ビジネスベップトーク」と題して講演し、シンプルでやる気を引き出す「ベップトーク」の魅力と実践方法を紹介した。

ベップトークとは、アメリカで大事な試合の前に指導者やリーダーが選手を励ますために行われている、ポジティブかつ短い言葉で選手を送り出す激励メッセージ。試合前に選手が感じている緊張や不安をやる気に変え、本来持つ力を最大限に引き出す効果がある。日本でも、昔ながらの叱咤激励では若い世代の人材育成につながらないとして、ベップトークを取り入れる企業が増えているという。講演で岩崎氏は「人は『期待』に対して、潜在意識のレベルで繊細に

反応する」と述べて、相手にはポジティブな言葉で「して欲しいこと」を伝えることが重要と強調。「相手の状況を認めた上で、背中をひと押しするようなポジティブな言葉を送り、相手に成功や望ましい状態を自然にイメージしてもらう事が、目標達成につながる」と述べた。

●春季研修会

商品開発委員会が工業会取扱商品や新製品NEPアーチ工法の今後の取り組みについて説明した他、昨年から今年にかけて竣工した会員社2工場の紹介、ドローンと画像解析を使った在庫管理システム、iコンストラクションの現状と外国人技能実習制度の説明、資材アンケート結果報告等が行われた。▽ケイコン三重工場で

三重工場(三重県伊賀市)は敷地面積約1万6100㎡で、生産能力は年間2万2000トン。今年1月、新棟が竣工した。当初は旧工場の養生槽などを撤去して生産量を増強する計画だったが、建物自体が現在の耐震基準に満たないことが判明し、工場棟の新設を決定。▽大型製品製造▽従業員安全・安心と快適・効率化▽地域特色を出す3項目をテーマに、旧工場棟の製品製造を続けながら建設を進めた。

竣工した新棟は熱中症対策とし



総会には50名が出席した

今後、小型製品や上空から見た時の差異が小さい製品などの判別方法、高さが低い製品を段積みしている場合の段数の計測など、試験計測で明らかにした課題について検証・検討を進め、さらに計測精度を高めた考え。ドローン空撮からレポート生成までの一連の作業を、全て自動システム化することも目指している。

●資材アンケート

アンケートには会員社全61社が回答した。普通セメントの平均価格は1万206円で、20年春の調査からは311円(3・0%)下落し、20年秋の調査から322円(3・1%)下落した。普通セメントの平均価格が1万円を超えるのは平成23年春の調査から20期連続。今後の見通しでは、「上昇する」が24社、「横ばい」が30社、「不明」が3社だった。また鋼材(D10)は昨年秋の調査から9・9円(13・2%)上昇、スクラップ価格の上昇が続いており、年内は価格が下がる事はないとの見方が有力。重油も6・4円(9・8%)上昇した。その他、10トン車満載時の50km運賃の平均値は昨年秋に続き2万7000円台となり、2・3%上昇。製造コストの上昇が顕著になっている。

●NEP短観

売上高を昨春と比べると、全61社のうち「上がった」と回答したのは全体の50%で、昨春の57%から7ポイントダウンした。利益額が「上がった」と回答したのは50%で、昨春の44%から6ポイント上昇した。また販売価格は56%が「上昇」と回答。昨春の41%から大幅に増えた。

一方、原材料価格は全体の95%が「上がった」と回答。昨春「上がった」と回答したのは55%で、全国的に原材料費が上昇している状況が明らかとなった。昨年10月から今年3月までの決算を対前年度比で比較すると、売上高が「増えた」と回答したのは全体の57%で、昨春の53%から4ポイント増加。「減った」は23%で9ポイント減少。「横ばい」は20%だった。出荷トン数ベースでは、「増えた」47%、「減った」38%、「横ばい」15%だった。今後の見通しでは、売上高が昨年より「良い」と回答したのは全体の7%で、昨春の12%から5ポイント低下。普通は53%、「悪い」が40%だった。設備投資では昨年と比較して「増やした」が32%、「現状維持」が61%だった。

今後の計画では37%が「増やす」と回答し、昨春の20%から17ポイント上昇。昨年よりも設備投資に前向きな姿勢が伺える結果となった。

事業再構築補助金

採択結果を公表

中小企業庁

中小企業庁は令和2年度第3次補正予算「事業再構築補助金」(緊急事態宣言特別枠及び通常枠、卒業枠、グローバルV字回復枠第1回公募)の採択結果を発表した。

募集期間中の応募総数は2万2231件で8016件が採択された。内訳は緊急事態宣言特別枠の応募が5181件で、2866件を採択。通常枠、卒業枠、グローバルV字回復枠の応募は1万7050件で、5150件を採択した。

応募割合・採択割合共に製造業、宿泊業・飲食サービス業、卸売・小売業が多く、この3業種で全体の約6割を占めた。製造業は応募件数で23・2%、採択件数で31・7%を占めた。中小企業数に占める応募比率は東京都、関西地区、愛知県、また採択率は秋田県、岡山県、高知県などが高かった。コンクリート関係の採択は次の通り。

●緊急事態宣言特別枠

【香川県】合田石材「デザインコンクリートをつかったリフォーム・エクステリア事業」

●通常枠、卒業枠、グローバルV字回復枠

【秋田県】佐藤組「コンクリート処分販売事業」【群馬県】メディアアグロース「コンクリート床の課題解決に向けたポリッシングサービスの国内展開事業」【新潟県】上越建設工業「超高強度繊維補強コンクリート製造プラント建設のモデル化事業」【富山県】ツライイン「最新のコンクリート型栽培ハウスによるキクラゲ生産事業への進出」【岐阜県】基信「住宅基礎施工に使用するコンクリート成型品の製造と販売」【愛知県】後藤コンクリート工業「ワイン発酵・貯蔵用コンクリートタンクの開発製造販売事業計画」【京都府】ソーシンプランニング「生コンクリート製造業から砂利採取業への業種転換モデル化事業」【兵庫県】サンセイ生コンクリート「生コンクリート製造・輸送から産業廃棄物収集運搬への業種転換」【兵庫県】OMORI「コンクリート用型枠製造から産廃回収・バイオマス燃料加工への進出」【岡山県】Nagi「ジャイアントブレイカーを使ったコンクリート解体、産業廃棄物収集運搬業への参入」【徳島県】富士建設工業「ASAN向けLED埋設コンクリート製品製造販売による事業再構築」【長崎県】三興特機「コンクリート切断から産業廃棄物中間処理までの一気通貫事業構築」【熊本県】大平コンクリート工業所「高齢者・障がい者・子ども達の共生型サービス開発事業」【大分県】コンクレタス「プレキャストコンクリートによる住宅事業参入」

決に向けたポリッシングサービスの国内展開事業」【新潟県】上越建設工業「超高強度繊維補強コンクリート製造プラント建設のモデル化事業」【富山県】ツライイン「最新のコンクリート型栽培ハウスによるキクラゲ生産事業への進出」【岐阜県】基信「住宅基礎施工に使用するコンクリート成型品の製造と販売」【愛知県】後藤コンクリート工業「ワイン発酵・貯蔵用コンクリートタンクの開発製造販売事業計画」【京都府】ソーシンプランニング「生コンクリート製造業から砂利採取業への業種転換モデル化事業」【兵庫県】サンセイ生コンクリート「生コンクリート製造・輸送から産業廃棄物収集運搬への業種転換」【兵庫県】OMORI「コンクリート用型枠製造から産廃回収・バイオマス燃料加工への進出」【岡山県】Nagi「ジャイアントブレイカーを使ったコンクリート解体、産業廃棄物収集運搬業への参入」【徳島県】富士建設工業「ASAN向けLED埋設コンクリート製品製造販売による事業再構築」【長崎県】三興特機「コンクリート切断から産業廃棄物中間処理までの一気通貫事業構築」【熊本県】大平コンクリート工業所「高齢者・障がい者・子ども達の共生型サービス開発事業」【大分県】コンクレタス「プレキャストコンクリートによる住宅事業参入」